

医療の安全と質の向上へ

事故防止に万全の体制

阪大病院では、病院のコンピュータネットワークを用いて医療事故には至らなかった「ヒヤリハット事例」を収集する、「インシデントレポートシステム」を導入して3年が経過しました。これまでに蓄積した情報や他院での医療事故を教訓にして事故防止のための数々の対策をすすめてきました。その具体例を紹介いたします。

インシデントレポートの成果

【患者さま誤認防止】
阪大病院は、毎日3,000人を超える患者さまを診療しているが、中にはよく似た名前の方も多くおられます。患者さまの協力のもとに、外来ではフルネームを名乗っていただき、入院時はネームバンドを装着していただきます。



異型輸血防止のためのコンピューターによるチェック



異型輸血防止のための血液型プレート

【異型輸血防止】
間違った血液型の輸血をすると、命にかかるといえることがないよう、何重ものエラー防止策をとっています。

【転倒・転落防止】
患者さまがベッドから転落する危険性をいち早くナースセンターで知るために、「ラウご君」や「離床センサーマット」と呼ばれる感知用具を使っています。ベッドからの転落事故を防止するために、高さの低いベッドや特殊なベッド柵を導入しています。また、万一ベッドから転落した場合に備えて、衝撃を和らげるマットを病室の床に敷くなどしています。さらに、患者さまにもすべりやすい

スリッパなどは、ほかないようにお願いしています。

【抗がん剤投与量のチェック】
抗がん剤の投与量エラーの原因として、投与日数の間違いや投与量の計算間違いなどがあげられます。このような間違いを防止するために、複数チェック体制の構築に取り組みました。代表的な化学療法剤に関する、抗がん剤の種類、投与日数、投与量を記載した投与計画書(プロトコル)を作成し、投与量の計算式とともに、コンピュータに登録します。さらに、病棟看護師、および薬剤師ともプロトコルを共有し、医師だけでなく複数の職種で確認ができるようになりました。

【ルート誤接続防止】
以前は、経腸栄養剤や流動食を投与するための胃管と、点滴用チューブは、見た目や太さがそっくりのうえ、経腸栄養剤のための注射筒は点滴用チューブに接続できるように作っていたために、経腸

ルート誤接続防止のための医療用具



上:点滴・注射用のチューブ類 下:胃管・経腸栄養用のチューブ類

栄養液を点滴用チューブに注入する危険性がありました。このような誤接続をなくすために、阪大病院の医師とメーカーによって開発された、胃管にしか接続できない先の太い専用注射筒が商品化され使われています。



上:点滴・注射用の注射器 下:胃管・経腸栄養用の注射筒

手術器械を使用します。中には、直径が1mm以下の非常に細い針糸もあります。これらの針、手術の前には必要に応じてレントゲン撮影を行い、遺残物がなくことを2人の医師で確認してから、手術を終わるようにしています。

患者さまと情報共有

【手術時の遺残物のチェック】
手術では非常に多くのガーゼ、スポンジのケース、手術室の遺残物のチェックは、非常に重要な役割を担っています。正確な病状を伝え、治療法やリスクを十分に説明し、納得して診療を受けていただくことが、人々の健康を守る病院は率先して禁煙活動を進め、分煙室を設け、分煙室を率先して禁煙室を設け、分煙室を進める予定です。特に、喫煙者が吸い込む主流煙に比べ、火のついたタバコから出る副流煙に有害物質が非常に濃度で含まれていることか、義務づけられました。大きな問題となっており、人々の健康を守る病院もこれまでに1階に喫煙室を設け、分煙室を進める予定です。ご理解とご協力をお願い致します。

阪大病院 全館禁煙に向けて

本年5月健康増進法が施行され、公共施設における分煙が義務づけられました。人々の健康を守る病院は率先して禁煙活動を進め、分煙室を設け、分煙室を進める予定です。特に、喫煙者が吸い込む主流煙に比べ、火のついたタバコから出る副流煙に有害物質が非常に濃度で含まれていることか、義務づけられました。大きな問題となっており、人々の健康を守る病院もこれまでに1階に喫煙室を設け、分煙室を進める予定です。ご理解とご協力をお願い致します。

中央クオリティマネジメント部を設置 患者さまの安全と医療の質の向上を推進

医療の安全と質の管理を行うために、今年4月に中央クオリティマネジメント部を設置しました。

同部は患者さまに安心して医療を受けていただくために、病院内での医療ミスや事故を限りなくゼロに近づける施策を行うとともに、全国42の国立大学病院でつくる医療安全管理協議会の事務局を担当します。

医療安全管理協議会には、病院内で患者さまの安全確保に必要な情報を共有するとともに、リスクを低くするための効果的な医療の提供を行うため同部では医療の安全確保を基礎として、さらに医療の質の向上を行います。そのために、さまざまなかたちで患者さまの安全確保を推進してまいります。

喫煙者が吸い込む主流煙と火のついたタバコから出る副流煙の成分の比較 (米国健康教育福祉省ほか)

タバコの煙に含まれる有害物質		
物質名	性質	主流煙に対する副流煙の含有量
ニコチン	有害物質	2.8倍
ナフチルアミン	膀胱発がん物質	39.0倍
カドミウム	発がん物質・肺気腫	3.6倍
ベンツピレン	発がん物質	3.9倍
一酸化炭素	有害物質	4.7倍
ニトロソアミン	強力な発がん物質	52.0倍
ちっ素酸化物 (NOx)	毒性	3.6倍
アンモニア	粘膜刺激・毒性	46.0倍
ホルムアルデヒド	粘膜刺激・ぜん毛障害・咳反射	5.0倍

6人が「ふれあい看護体験」

ナイチンゲール生誕の「看護の日」(5月12日)を記念して、当院病棟で看護師の仕事を一一般の人に体験してもらう、「ふれあい看護体験2003」を行いました。

22歳から26歳の6人が参加。午前中は看護師と一緒に、検温や血圧測定、足浴、シャワー介助、車イス護送、患者さまとの会話、昼食の配膳などの看護体験をしました。

昼食は病院職員とともに給食を食べ、午後からは、保健医療福祉ネットワーク部、ベッド洗浄や病歴管理室、院内学級などを見学しました。

参加者は看護師の仕事の大変さと「看護の心」を実感され、福岡看護部長から「参加証」を手渡されると、笑みがこぼれました。

一方、外来では、エントランスホールで、血圧測定、体重・身長測定、栄養相談が行われ、延べ250人の人が測定や健康相談をしました。

また同時に入院患者さまの俳句や絵画を、エントランスホールに、1週間展示しました。院内学級の子供たちのメッセージは看護に対する感謝にあふれていました。

今秋にも院内PHS導入

医師や看護師などの病院職員には、患者さまの容態急変や急用があるときなどに素早く連絡しなければなりません。阪大病院では、緊急連絡用に医療機器などに影響を与えることのないPHSをこの秋にも本格的に導入する予定です。

これまではポケットベルを使用していましたが、すぐに会話ができず、緊急時に問題がありました。携帯電話は電波によって様々な医療機器に影響を及ぼす恐れがありますが、PHSは電波の出力が小さく、通常の使用では実質的に電波障害を発生させないために、病院内でも使用することができます。

病院内でのPHS利用には、職員内の連絡以外にも、ナースコールシステムと連動し、患者さまからの呼び出しにPHSで応答できる利点もあります。現在、東3階病棟で実験的に導入していますが、ナースステーションを離れて仕事をしても、ナースステーションに戻らず、すぐに応答できますので、大変評判が良く、このシステムを全病棟に導入したいと考えています。

また、患者さまの中にも病院内で携帯電話が使えないために不便を感じられる方もおられるので、患者さまへのPHSの貸し出しサービスも検討しています。

デイルームに自販機設置

病棟各フロアのデイルームに清涼飲料水の自動販売機を設置しました。

これまでは、自動販売機の設置されているフロアに限られており、患者さま、ご家族にご不便をおかけしていました。今後ともさらに、入院患者さまが快適な入院生活をおくれるように、病棟を整備していきますので、改善してほしい点をお伝えください。

質問箱

外来での検査やレントゲンなどの受付時間や受付方法はどのようになっていますか。

A 外来では診察を行う医師が、病状の診断のために各種の検査を、臨床検査部や放射線部に依頼します。依頼はコンピューターによって行われ、患者さまには医師が、検査についての注意事項や解説の書かれた説明書を渡して、どこに、いつ行けばいいか指示します。

また、その説明書には、検査の場所や受付時間も書かれていますので、医師の指示通りに、それぞれの受付に直接、診察券を出して、検査を受けてください。

予約が必要な検査は、担当医が検査の説明をしたうえで、日時を指定しますが、診察時に予約ができない場合は、予約がとれ次第患者さまにご連絡させていただきますことでもあります。

受付時間は、臨床検査部は午前8時半から午後2時半、放射線部は午前8時半から午後3時半(一般撮影は午後5時まで)となっています。

楽で安全ながん治療 外来化学療法室設置へ

準備体制が完了

も、安全に実施できるように準備が完了しました。

昨年年度に調査をしたところ、阪大病院では1週間で98例、年間では4700例もの化学療法が外来で行われており、外来化学療法の社会的ニーズは高くなっています。

しかし、外来では化学療法専属の医師がないために、外来で予診や診察している医師が抗がん剤を投与し、その調剤や投与中の患者さまの管理などは外来の看護師が行っていました。しかし、外来業務を担うしかならぬ安全面からも問題があります。また、抗がん剤の調剤は危険が伴うために、薬剤師が安全キャビネットの下で防護服やグローブを着用して行うことが理想的です。

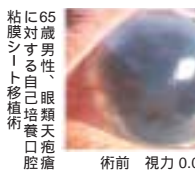
このような問題点を改善して、安全で質の高い外来化学療法が行えるように、院内に「外来化学療法室」を設置し、高度で安全な準備体制が完了しました。

外来化学療法室が設置されたら、化学療法室はリクライニングチェアを置き、患者さまのプライバシーを守るの

眼科治療の最先端 難治性眼疾患に大きな成果

黄斑変性 角膜再生医療 人工視覚開発

阪大病院の眼科では、治療が難しく、治りにくい目の病気に、再生医療などを用いて、再生医療などによって完治させる試みを行っています。注目されている三つの先端医療



術前 視力 0.01 術後 視力 0.7

65歳男性、眼精大胞腫に対する目内培養細胞移植術

を紹介しましょう。わが国の失明原因第一位になっている黄斑変性は、網膜にある黄斑と呼ばれる視力など目の機能に重要な役割を果たす部分が変性する病気です。特に血管新生黄斑変性は加齢や強度近視が原因となっており、黄斑部が脆弱な新生血管によって障害される極めて治りにくい病気です。

眼科では、世界に先駆けて、黄斑部の位置を網膜の正常な部位へ移動させる中心窩移動術を開発しました。すでに多くの患者さまに行い、良好な臨床成績を収めています。

次は、角膜提供者が少なく、拒絶反応などの問題もある角膜移植に替わる画期的な治療法として注目されている角膜の再生医療です。

すでに、テレビや新聞などで多数報道されましたが、角膜の再生医療は、角膜上皮細胞を採取し、その細胞を培養してシートを作ります。その細胞シートを角膜上皮の病気の患者さまに移植する手法を世界で初めて開発しました。倫理委員会の承認を得て、臨床応用を開始しており、世界初の臨床例4例の術後成績は良好です。

最後に、網膜内埋め込み型の人工視覚の開発と電気刺激による視神経の抑制法を紹介しました。網膜の視細胞が障害されて失明した場合、現在のところ治療手段がありませんが、網膜にチップを埋め込み人工的に視覚を回復させようという先端医療です。

また、化学療法室にはリクライニングチェアを置き、患者さまのプライバシーを守るの

みなならず、リラックスできる快適な環境を提供したいと考えています。

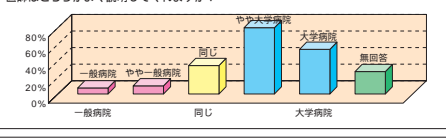
診療科の垣根を越え、医師、看護師、薬剤師が協力して、患者

さまに外来で最高の化学療法を受けていただくために、委員会でも理想的な外来化学療法室を検討し、一日も早く実現するよう努力しています。

「患者さまアンケート」の大阪大病院の中から「職員印象について」を紹介いたします。

阪大病院と一般病院の両方にかかっている患者さまを対象に、職員印象についてアンケートを実施しました。その結果、医師、看護

大学病院と一般病院の両方にかかっている方におたずねします。(職員印象について) 医師はどちらがよく説明してくれますか?



師とも多くの患者さまから一般病院より阪大病院の方が「優しく」「よく説明してくれる」との回答をいただきました。

阪大病院では、インフォームド・コンセントにもそのことを理解し

「患者さまアンケート」の大阪大病院の中から「職員印象について」を紹介いたします。

「よく説明してくれる」との回答をいただきました。この結果に満足するに、患者さまの立場に立った適切な医療の実践を目指して、患者さまに病状などをわかりやすく説明する努力を続けており、患者さまに受け止めやすい声かけを心がけています。

ひとこと

豊中市薬剤師会 会長 武彦

薬剤師はO.L.を確保するために、処方箋をもとに、正確に調剤することはもちろん、薬を服用するうえで必要な情報を提供し、副作用が極力出ないようにしていただきます。しかし、それが、「大きなお世話」と、感じる患者さまもおられます。

また、患者さまの考えを聞き、どのような薬を飲んでおられるかを記録していますが、それがプライバシーの侵害ととらえられることもあります。

信頼される薬剤師に

患者さまによって対応を替える必要があり、薬剤師にはマニュアルがないと言われていました。どのような患者さまにも対応できるように、患者さま一人一人を理解することはもちろん、日々歩みの医療情報を研究する必要があります。

信賴される薬剤師に

その信頼を裏切らないように、豊中市薬剤師会では、薬に関する新しい知識を積極的に研究するなどの勉強会を定期的に開いています。

患者さまのクオリティ・オブ・ライフ(QOL)生活の質をよりよくするために、かかりつけ医をはじめ、看護師、栄養士や理学療法士など多くの専門家がかわかっていきます。薬剤師もその一人です。